

抗アレルギー剤の分析 1 Anti allergy drugs

抗アレルギー剤には塩基性化合物が多く、HPLC分析を行う際には、しばしばピークのテーリングが起これります。

そこで今回、抗アレルギー剤であるフェキシフェナジン、クロルフェニラミン、トリプロリジン、ジフェンヒドラミン、ジフェニルピラリン、ホモクロルシクリジン、ヒドロキシジン、アステミゾールおよびプロメタジンの一斉分析を行いました。移動相には一般的なカラムではピークテーリングの起こりやすいアセトニトリルを移動相に用いていますが、**L-column2 ODS**ではほとんどテーリングがなく、分析が可能です。

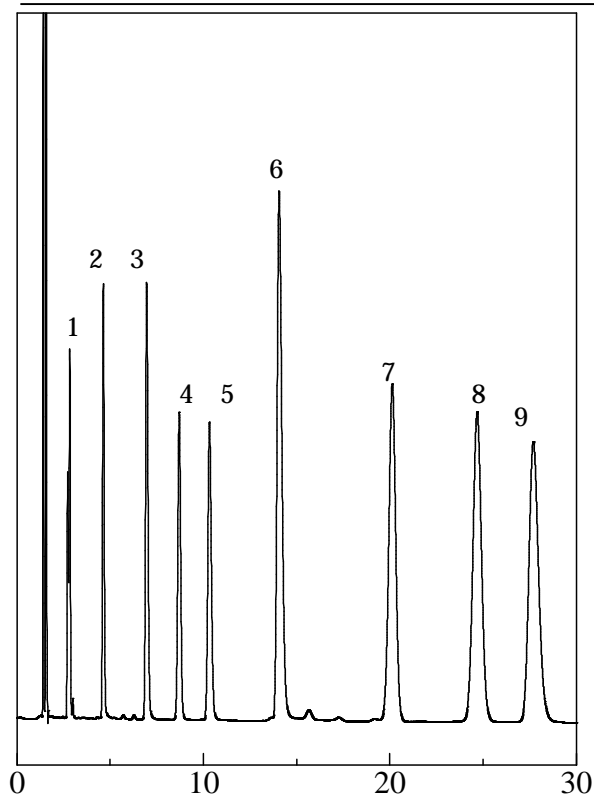


Fig. Chromatogram of Anti allergy drugs

【Analytical conditions】

Column : L-column2 ODS (5 μ m, 12 nm)
4.6 \times 150 mm
Mobile phase : CH₃CN/25mM Phosphate buffer
pH7.0 (40/60)
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40
Detection : UV 220 nm
Injection volume : 1 μ L in CH₃CN

